

# とやま

県広報とやま

2003

4月号

No.399

富山県

## 特集 平成15年度県予算「ひと、未来、元気予算」

クローズアップ あなたから始める ごみゼロ推進大運動！



近代美術館 常設展示室 4/5 新装拡大オープン

県立近代美術館で来館者への作品ガイドを中心にボランティア活動を行っている「どおむの会」の皆さん。

2月

1日

## 県人が拓いた地の返還を求めて

### 北方領土の日記念事業

二月七日の「北方領土の日」を前に、県や各種団体でつくる「北方領土返還要求運動富山県民会議」主催の記念事業が富山市内で行われ、北方領土の早期返還を訴えました。

二月一日の午前中には、とやま自遊館でNHK解説委員の小林和男さんが記念講演。自らの体験を通して、「ロシアのことをよく知り、返還が実現しない理由をきちんと分析する必要がある」と語りました。また、午後からは富山駅前で署名活動など街頭キャンペーンが行われました。



「ロシア情勢と北方領土問題」と題し、講演する小林和男さん

2月

10日

## 富山発の総合学を推進

### 日本海学推進機構を設立

県が提唱する「日本海学」の研究拠点として、とやま国際センターに「日本海学推進機構」が設立され、二月十日に記念シンポジウムが開催されました。

富山市の高志会館で行われたシンポジウムでは、中沖知事が「環日本海地域の国際協力などの推進には、調査研究

富山県は、北方領土からの引揚者が北海道に次いで多く、草の根交流や幅広い返還運動が推進されてきました。県では、引き続き青少年の相互交流を支援するとともに、新たに日本語教師や専門家の派遣などに取り組むこととしています。

問合せ  
県庁総合政策課  
076(444)8652

のための総合学が必要。国内外への日本海学の普及に全力を尽くしたい」とあいさつ。続いて行われたパネルディスカッションでは、県内外の専門家らが日本海学の可能性などについて語りました。



多くの県民が参加し、専門家の話に熱心に耳を傾けたシンポジウム

日本海学は、環日本海地域を一つの圏域としてとらえ、自然とのかかわりや人々の交流などを総合的に研究していくこととするものです。県では今後、大学との連携講座の開設や研究成果のデータベース化など、同機構を中心に日本海学の一層の研究と普及を進めていくこととしています。

問合せ  
県庁国際・日本海政策課  
076(444)3339

3月

2日

## 夢と希望をありがとう

### 名誉県民・名誉市民贈呈式

ノーベル化学賞を受賞した田中耕一さん(富山市出身)への富山県名誉県民・富山市名誉市民贈呈式が、三月二日、富山国際会議場で行われました。

式では、中沖知事が「田中さんは県民に大きな夢と希望を与えてくれた」とあいさつ。続いて、称号記と副賞の名誉県民章(徽章)、金杯が贈られました。



中沖知事から名誉県民称号記を受け取る田中耕一さん

田中さんは、ノーベル賞の受賞対象となった研究をスクリーンで説明しながら、「豊かな自然に恵まれた富山に育ったことが、好奇心や探究心

を引き出してくれた。田舎はダメだという常識にとらわれてはいけない」とスピーチ。「富山が富山であることに自信を持ち、富山のよさを見つけて育てて欲しい」との言葉に、会場は大きな拍手に包まれました。



贈呈式では、多くの来場者が初の名誉県民となった田中さんをあたたかく祝福した

また、田中さんは県のパイオ関連の研究事業に関して、産学官の研究者・技術者との交流から始めていく考えを示しました。県では、今後「富山バイオバレー構想」を一層推進していくほか、田中さんのノーベル賞受賞を契機に、個性を伸ばす人材育成や科学技術の各種施策を積極的に展開していくこととしています。

問合せ  
県庁総合政策課  
076(444)9605

# あなたから始める ごみゼロ推進大運動!

## 「とやま廃棄物プラン」を策定しました

県では、ごみの減量化・リサイクルを進めることでごみの排出を減らし、環境への負担を小さくする「循環型社会」の形成をめざしています。県民、事業者、行政が一体となった「ごみゼロ推進大運動」に皆さんで取り組みましょう。



生ごみの堆肥化



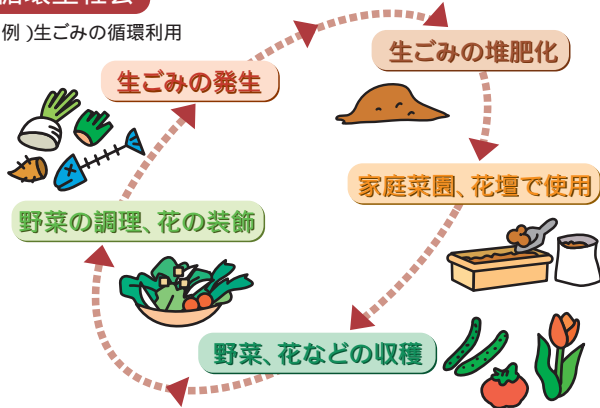
資源ごみの分別



フリーマーケットの活用

### 循環型社会

(例)生ごみの循環利用



**ごみを減らす循環型社会**  
県内で発生する廃棄物のうち、家庭などから排出されるごみの量は、年間約四十万トンで、一人当たり一日に約一キロのごみを出していることとなります。これらのごみは市町村のごみ処理施設で処理されていますが、その処理には多くの費用がかかっています。また、二酸化炭素など地球温暖化の原因となるガスの発生源にもなっています。  
「ごみをできるだけ出さないようにし、使えるものは繰り返し使ったり、資源になるごみは繰り返し使ったり、これを徹底する、循環型社会をつくる」ことが課題となっています。

### 「とやま廃棄物プラン」での主な役割

- 県民**
  - 家庭ごみの量をできるだけ減らす。
  - 資源ごみの分別を徹底し、リサイクルを推進する。
- 事業者**
  - ごみの発生が少ない製品の開発に努める。
  - 過剰な包装を見直すとともに、資源ごみの自主回収に努める。
  - チラシやダイレクトメールなどの宣伝方法を見直す。
- 行政**
  - ごみの減量化・リサイクルの取り組みを率先して実行し、県内全域に定着させる。
  - 住民が排出するごみの減量化・リサイクルを推進する。
  - 県民・事業者のリサイクル促進活動などを支援する。
  - ごみ処理施設の計画的な整備をする。

**とやま廃棄物プランの策定**  
県では、平成十五年三月に「富山県廃棄物処理計画(とやま廃棄物プラン)」を策定しました。このプランでは、ごみの減量化・リサイクルを促進するため、県民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たすことで、平成二十二年度までに、ごみの排出量を七%削減することなどを目標にしています。  
このため、ごみの減量化やリサイクルに積極的に取り組んでいる団体・地域への支援や、ごみを減らすアイデアを広く募集するコンテストの実施など、皆さんで取り組める体制づくりを進めていきます。

問合せ  
076-444-9618  
県庁環境政策課

### 家庭で簡単に行える ごみゼロ推進大運動

料理は必要な量だけ作るようにし、食べ残しを減らしましょう。  
洗剤などは詰め替え式のものを使いましょう。  
買い物では、必要のない包装を断ったり、買い物袋を持参しましょう。  
修理・修繕などを行い、ものを長く大切に使いましょう。  
生ごみを堆肥化し、肥料として使ってみましょう。  
缶、古紙、ペットボトルなど、資源ごみはきちんと分別しましょう。



**家庭でできるちょっとした工夫**  
「ごみを減らし、リサイクルを進めるには、消費者でも排出者でもある県民の皆さん一人ひとりの協力が必要です。家庭でもできるちょっとした工夫の積み重ねが循環型社会の形成に大きな役割を果たします。日々の生活のなかで、簡単にできることから始めてみましょう。」

富山県民新世紀計画 五つの立県構想別の主な事業

産業立県 ~知恵と技術が活きる産業づくり~

中小企業金融対策  
 ・経営安定関係資金の新規融資枠拡大...231億9,500万円  
 ・企業再生支援融資の拡充(融資期間5年 7年、融資限度額5,000万円 1億円)など  
 DNAチップの開発に取り組み県工業技術センター  
 創業予定者などに対する助成制度の創設や新産業・ベンチャー創出支援資金の充実...20億3,500万円  
 教育、福祉、環境など県民ニーズの高い分野での緊急雇用創出特別基金を活用した積極的な雇用創出...24億円  
 集落営農組織の協業経営や法人化を推進...1,200万円  
 このほか、バイオ分野の産学官大規模共同研究プロジェクト、地産地消やすぐれた食文化の創造などに取り組みます。



DNAチップの開発に取り組み県工業技術センター

国際立県 ~環日本海交流の中央拠点づくり~

優れた技術や豊かな経験を持つ中高年齢者を北東アジア地域へ派遣するシニア国際協力事業を拡充...2,417万円  
 留学生のためのTIC日本語学校(4月開校)の運営支援...6,160万円  
 日本海学の推進...9,203万円(日本海学推進機構の活動支援、シンポジウムの開催、児童・生徒向け入門書の発刊など)  
 中国における富山県事務所の開設準備...330万円  
 このほか、環日本海諸国との環境協力や経済交流、国連機関のNOWPAP(北西太平洋地域海行動計画)本部事務局の支援などに取り組みます。



中国で技術指導にあたるシニアボランティア

新時代の行政運営 ~住民と地方が主役の県づくり~

個人情報の適正な取扱いや自己情報の開示請求など、総合的な保護対策を進めます。  
 県民と県職員が直接対話する「出前県庁」を県内各地で開催するとともに、県民からの相談体制を充実します。  
 埋蔵文化財センターの土日・祝日の開館や旅券の日曜交付など、県民の利便性の向上に努めます。  
 市町村合併については、特例交付金制度を創設するなど、市町村の自主的・主体的な取り組みを積極的に支援します。  
 長期的展望に立ち、本県が今後とも発展を続け、県民が豊かな生活を享受していくための戦略について調査研究します。  
 行財政改革については、3月29日(土)の新聞朝刊各紙に掲載した「県からのお知らせ」で詳しく紹介しています。

人材立県 ~元気で創造性豊かな人づくり~

ノーベル賞受賞者等の指導・助言、協力による人材育成や科学技術の各種施策の展開...1,000万円  
 少人数指導や基礎学力向上などを進めるため、小中学校・高校に非常勤講師を配置...3億4,911万円  
 教員と非常勤講師によるきめ細やかな指導  
 不妊治療に要する経費の助成制度を創設(都道府県としては初)...1,100万円  
 優れた芸術家や県内の新進芸術家による地域への出前公演などを支援...1,700万円  
 このほか、生涯学習校の整備やボランティア活動の推進などに取り組みます。



教員と非常勤講師によるきめ細やかな指導

生活立県 ~安全・安心で快適な暮らしづくり~

家庭、地域、事業者等が連携したコミュニティケア活動への支援など、住民参加の地域総合福祉の推進...2億484万円  
 支援費制度の円滑な運営に向けた福祉施設の整備、障害者ヘルパー養成研修の拡充など障害者支援体制の充実...4,997万円  
 残留農薬検査機器の整備、食品表示ウォッチャーの設置など食品の安全対策推進体制の強化...1億8,181万円  
 北陸新幹線の建設(負担金など)...43億7,876万円  
 このほか、県全体の公共交通のあり方を示す地域交通ビジョンの策定や防災対策、道路・空港の整備などに取り組みます。



環境立県 ~環境と調和した美しい地域づくり~

温室効果ガス排出削減計画の策定など地球環境保全対策の推進...1億1,701万円  
 ごみ減量化の実施活動団体への助成など、廃棄物の減量化とリサイクルを総合的に推進...4,037万円  
 有峰森林文化村での森林文化活動の推進...8,735万円  
 県内のさくらの名所の選定や、さくらの保護と育成を担う「さくら守」の養成...500万円  
 このほか、景観条例に基づく住民協定の締結等に対する助成や、登山用携帯トイレ普及の支援などに取り組みます。



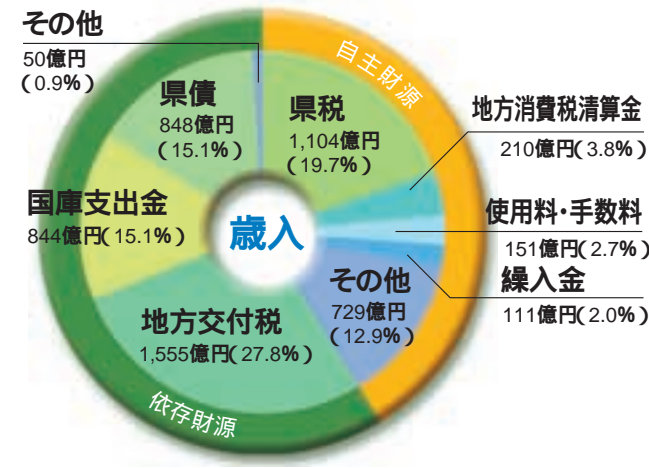
ひとが輝く未来づくりを進めます

平成15年度県予算「ひと、未来、元気予算」

一般会計当初予算は5,602億円で、前年度より41億円(0.7%)の減(前年度予算額から借換債分を差し引いた額との比較)

本県の財政は、景気を反映して県税収入が大きく減少するなど、従来にも増して厳しい状況にあります。こうしたなかで、県民新世紀計画に基づく諸施策を重点的かつ効率的に推進することとしました。また、景気・雇用対策や地域づくりの基本である人づくり施策など、将来の発展をめざし、県民の皆さんが未来に向けて夢と希望を持てる予算編成に取り組みました。

その概要を人材、生活、環境、産業、国際の五つの立県構想に沿って紹介します。



主要施策をのぞいてみよう!

子どもの多様な可能性を引き出す取組み

人材育成や教育支援を総合的に進める富山県ひとづくり財団を設立。同財団では「きらめき未来塾」を開設し、自分で考える力を磨く「思考道場」や、話術・ユーモアセンスを磨く「お笑い道場」を実施するなど、子どもの多様な可能性を引き出すさまざまな事業に取り組みます。



「みんなで造ろう」マイロード作戦

歩道の段差を無くすなど、利用者の意見をもとに、ちょっとした工夫でより快適な道づくりを進める「とやまのみちフレッシュアップ事業」。15年度からは新たに「りんりんロード事業」、「まちかどオアシス事業」を実施し、歩行者と自転車の通行帯の分離や歩行中にひと休みできる空間づくりなどに取り組みます。



電腦県庁を推進

県では、インターネットなど情報技術を活用し、行政運営の効率化や県民サービスの向上を図る「電腦県庁」の構築を進めています。インターネットにより24時間いつでも申請・届出が可能なシステムの構築や、高速情報通信網「とやまマルチネット」を活用した行政情報の提供に取り組みます。



ワークシェアリングの導入促進

「ワークシェアリング」とは、雇用を維持・創出するため、労働時間の短縮を行い、雇用、賃金、労働時間の調和を図ることです。県では、専門アドバイザーの派遣などにより民間での導入を支援するほか、若年求職者を県職員の事務を分担する非常勤職員として採用するなど、積極的な導入に努めます。



# 美術にふれる喜びと感動を一緒に分かち合いました



## 県立近代美術館 ボランティア 「どおむの会」の皆さん

左より  
多賀久子さん(1期生)、  
宮田美佐子さん(7期生)、  
石川美智子さん(1期生)

20世紀初頭から現在までの美術を身近に楽しむことのできる県立近代美術館では、昭和60年から、来館者への作品ガイドを中心にボランティアの方々が活動している。「どおむ」は、県立近代美術館の特徴ともいえる常設展示室の吹き抜けドームのこと。4月5日には常設展示室がリニューアルし、より充実した作品とギャラリートークで来館者を迎える。



自分の好きな作家を選んで勉強し、解説の発表を行う研修も行っている。ボランティアは現在48人が活動している。

### 美術から始まるふれあい

「どおむの会」の皆さんは、分かりにくいといわれる20世紀美術を解説するいわば美術の案内人。多賀さんは、「常設展を初めて見た時、あまりにも分からなくて、中に入り込めば分かるようになるかなあと(笑)」ときっかけを話す。

ボランティアの皆さんは、来館者に声をかけたり、依頼があれば最初からついて解説したりしている。

「いつも素通りしてたけど、お話を聞いてよかった」と言われると本当にうれしい」と話す石川さん。

二十代の宮田さんは、子どもたちとのふれあいが楽しいという。

「とても新鮮な見方に驚くこともあります。キッズコーナーで作っているものを見ると、あ、この箱はこんなふうに使えるのかと(笑)」

### 解説は人とのコミュニケーション

ボランティアの皆さんは養成講座で基礎知識を習得するが、それですぐ解説できるものではない。知っていることと話して表現することは別だからだ。石川さんと多賀さんは一期生として、先例のない中でききなり現場に立った。

最初は解説ボランティアなんだから話さなきゃ、と無我夢中でした」と石川さん。しかし、中には話しかけられたくない人もいる。どうしたらいいのか迷った時期もあるという。

来館者に話しかけるきっかけがつかめなかった宮田さんは言う。「多賀さんに魔法の言葉をもらったんです。何かお好きなものはありますか?」って。一期生が経験の中で見つけた小さな魔法だ。

「こちらが新しい見方を教わることもあります。解説というより、一緒に会話しながら鑑賞してるんです」と多賀さんは笑う。知識を押しつけるのではなく、相手の歩みに合わせ絵の感動を一緒に分かち合う。

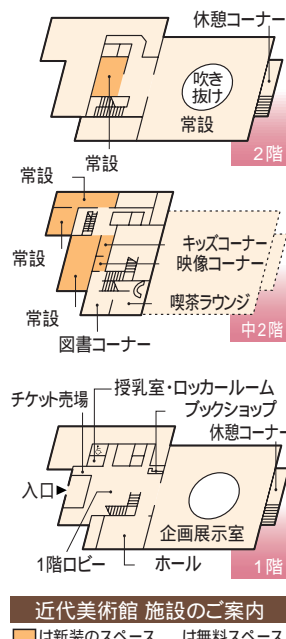
テープで作品ガイドをする美術館とはひと味違う「コミュニケーション」が、ここにはある。

### ドームの下で新しい出会いを

ボランティアの皆さんは、常に勉強を欠かさない。「一つの作品について話すには、その作家を幅広く奥深く知っていないといけない。まだまだ満足してません」と多賀さん。

新装オープンでは、富山県出身の詩人・美術評論家瀧口修造の展示室をはじめ四つの常設展示室が新設されるなど、新しい活躍場所が待っている。石川さんは、「旅行をしてもつい美術館に足が向く。もっと自己研修しなくては」と語る。

子どもの頃から近代美術館に親しんでいたという宮田さんは、同年代の人にもっと訪れてほしいという。「県外の人から、素敵な美術館って誉められるのがうれしくて」と笑う多賀さん。美術館という空間の最前線で、来館者とふれあうボランティアの皆さん、ドームの下にはまたいくつも新しい出会いが待っている。



皆さんに郷土の良さを再発見・再認識していただくため、新聞・テレビ・雑誌など、さまざまなメディアで全国で紹介された富山の話題を紹介します。今回は平成15年1月～2月に紹介された話題の中からいくつかを紹介します。なお、ここで紹介しきれなかったものは県広報課のホームページでご覧になれます。

## 月日を越えて歴史を語りかける道

岐阜県中部の郡上八幡から高岡へ至る白川街道を紹介。かつて、物資はもとより文化や信仰を運び、人々の生活を支えた街道をたどり、今に伝わる伝承や風景を伝えた。また、加賀藩の経済を支えた五箇山の塩硝づくりを紹介した。

◎週刊日本の街道35「白川街道」1月7・14日号



## 日本の元気は富山から

テレビや雑誌、ウェブ広告などで実施された県のイメージアップ広告を紹介。架空のドリンク剤「トヤマケンV」をモチーフに、豊かな自然や食べ物など富山の「元気の源」が現代人に効く、とアピールしたことを伝えた。

◎コマースフォト2月号、宣伝会議2月号、広告批評2月号



## とやまの春を彩る風物詩

チューリップの球根出荷額が日本一の富山県。その大産地の砺波平野を取り上げた。砺波の春を鮮やかに彩るチューリップには、今も昔もこの花を愛し、育てつづけた砺波の人々の思いが詰まっている、と紹介した。

◎週刊四季花めぐり22「チューリップ」2月20日号



## 氷見の寒鰯

『塩田丸男のいのちの「食」訪問』で、日本人が口にする約180種の魚類のうち156種がとれるという“天然のいけす”富山湾の氷見漁港を訪問。寒鰯のせりの様子や定置網漁などを紹介し、鰯にかかわる人々の思いを伝えた。

◎週刊新潮 2月6日号



## 昆布を食べてノーベル賞をもらおう

総務省の家計調査で、1世帯あたりの昆布消費量・消費額の首位は、天然の昆布が全く採れない富山市であることを紹介。昔から食べると頭が良くなると言われ、ノーベル賞の田中さんも好物という「富山県人の昆布好き」を伝えた。

◎朝日新聞(夕刊) 2月10日



## 今後の予定

「川～源流から海へ - 富山県・黒部川 - 」

NHK教育 4月21日(月) 午前11:15～11:30

(再放送) 4月23日(水) 28日(月) 30日(水) 5月7日(水)

源流から海まで、黒部川の流れをたどりながら人々の暮らしとの関わりを伝えます。



富山県が全国で紹介された情報をお持ちでしたら、ぜひ県庁広報課までお知らせください。

## 編集部から

2月号で県政への県民参画を特集しましたが、県民の皆さんからのご意見をより県政に反映させるため、この4月から広報課に「県民の声係」が設置されることになりました。また、県民相談室の場所はこれまでどおり県庁正面入り口2階ですので、お気軽にお立ち寄りください。

県広報とやまは、隔月(偶数月)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、次の場所で無料配布するほか、郵送による購読も受け付けています。

主な配布箇所 / 県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法 / 郵便番号、住所、氏名、電話番号、購読回数を明記し、郵送料として1回当たり120円分の切手を同封のうえ、県庁広報課「県広報とやま 定期購読係」までお申し込みください。

なお、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。

## とやまの情報お伝えします!【4月の県政番組・お知らせ】

番組タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00～11:30

6日 リサイクル型社会の実現に向けて  
13日 障害者の自立をめざして  
20日 みなさんの声を県政に  
27日 わがまち自慢～砺波市～

とやまDASH! フォーカス・イン 富山テレビ 毎週日曜 9:00～9:30

6日 深層水  
13日 とやまの春を探して  
20日 新人たちの春  
27日 ゴールデンウィークとやま行楽マップ

富山が元気。見たモン勝ち2 チューリップテレビ 第4日曜 10:00～10:52  
27日 アウトドアレジャー

とやま県聞録 FMとやま 毎週月曜～木曜 11:30～11:40  
毎週土曜 11:30～11:55

新聞広報「県からのお知らせ」  
4月12日、26日の朝刊各紙に掲載予定  
富山県ホームページ  
<http://www.pref.toyama.jp/>

## プレゼントつきアンケート

あなたが県政の情報を得ているのは、次のうちのどれですか(複数回答可)

広報誌「県広報とやま」  
新聞広報「県からのお知らせ」  
北日本放送テレビ「こんにちは富山県です」  
富山テレビ「とやまDASH!フォーカス・イン」  
チューリップテレビ「富山が元気。見たモン勝ち2」  
FMとやま「とやま県聞録」  
その他(内容を記入ください)

## 応募方法

ハガキに、アンケートの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、県庁広報課「県広報とやま4月号プレゼント係」まで。締切 / 4月18日(金)(消印有効)

20名の方に、近代美術館観覧券(ペア)と「奥田元宋展」図録をセットでプレゼントします。(当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。)



県庁広報課への郵便、ご連絡は 〒930-8501(県庁専用郵便番号、住所記入不要) 県庁広報課あて  
☎ 076(444)3134 FAX 076(444)3478 e-mail koho@pref.toyama.lg.jp  
県庁広報課のホームページは <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>

## 近代美術館

**新装拡大オープン記念 奥田元宋展**  
 【4/5(土)~5/25(日)】  
 今日の日本画に大きな足跡を残した奥田元宋の代表作や絶筆など65点の作品により、その優れた画業を振り返ります。  
 一般 900円 高・大 650円 小・中 450円  
 常設展示もご覧になれます。  
 企画展の前売り券(一般のみ、700円)を開催の前日まで、当館、水墨美術館、県民会館で発売しています。  
 9:30~17:00(入館は16:30まで)  
 (休)月曜・祝日の翌日(4/28~5/5は無休)  
 常設展示観覧料 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円

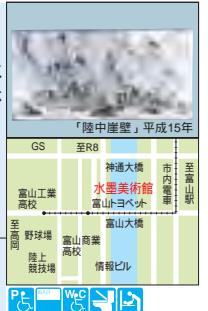


「巖か」と1979年 日本芸術院蔵



## 水墨美術館

**下保昭展**  
 【4/4(金)~5/5(月・祝)】  
 日本や中国の風景を題材としながら、独自の水墨画で注目を集める下保昭の新作70点を展示します。  
 一般 700円 高・大 500円 小・中 350円  
 常設展示もご覧になれます。  
 企画展の前売り券(一般のみ、550円)を開催の前日まで、当館、近代美術館、県民会館で発売しています。  
 9:30~17:00(入館は16:30まで)  
 (休)月曜・祝日の翌日(4/28~5/5は無休)  
 常設展示観覧料 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



「陸中産産」平成15年



## 県民公園太閤山ランド

**「たいこうやまトレール」命名・発車式**  
 【4/5(土) 10:00~】  
 「雷鳥」をテーマにデザインされた新しい園内の乗り物が、当日、無料で乗車できます。(通常は大人300円、3歳以上小学生以下100円)  
**太閤山ランドみどりの散歩道**  
 【4/29(火・祝) 13:00~16:00】  
 ナチュラリストとともに散歩します。参加費/大人 200円 小学生以下 100円 要申込 4/21まで 定員/100名(申込順)  
 9:00~17:00 (休)火曜・祝日の翌日(4/29~5/5は無休)入園無料(駐車料金は別途必要)



## 県民公園常願寺川公園

**常願寺川公園 桜まつり**  
 【4/5(土) 11:00~16:00】  
 【4/6(日) 10:00~16:00】  
 桜にかこまれた華やかな雰囲気の中で「キリンの目で花見」「出発進行! ミニSL」「馬と親しむ会」「ちびっ子ふわふわ天国」などのイベントのほか、特産品販売・飲食コーナーもあります。  
 参加費/各イベント1回 100円  
 9:00~17:00  
 (休)火曜・祝日の翌日(4/29、5/4は開園)  
 入園無料



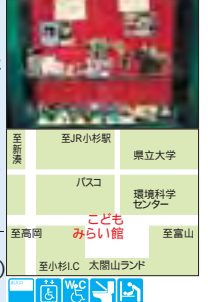
## 中央植物園

**夜桜観賞**  
 【ソメイヨシノの満開日2日間 18:00~21:00】  
 ライトアップして夜桜を観賞します。夜間特別料金/大人 200円 小・中 100円 実施日はお問い合わせください。  
**日曜植物案内**  
 【4/6(日) 11:00~12:00】  
**植物園オリエンテーリング**  
 【4/20(日) 10:30~12:30】  
 9:00~17:00 (休)木曜(5/1は開園)  
 入園料 一般 600円 小・中 300円



## こどもみらい館

**造形活動展「2002年の活動の中から」**  
 【~4/20(日)】  
 1年間に実施した造形活動の様子を子どもたちの作品などととも紹介します。  
**パソコンで名刺を作ろう**  
 【~4/20(日)】  
 パソコンで名前や似顔絵を書き込んだ名刺を作ることができます。  
 参加費/100円  
 9:30~17:00  
 (休)火曜・第4水曜・祝日の翌日(4/29、5/4は開館)  
 入館無料



## 埋蔵文化財センター

**企画展「器 - とやまの食と暮らし - 」**  
 【~4/13(日)】  
**企画展「道具 - はじめの歩」**  
 【4/23(水)~9/15(月・祝)】  
 遺跡から出土した道具、近年まで使われてきたなつかしい道具などを通して、道具の発達をわかりやすく紹介します。  
 9:00~17:00  
 (休)金曜 4/1から土日・祝日を閉館します。  
 入館無料



## 県民公園頼成の森森林科学館

**緑に親しむ集い**  
 【4/29(火・祝) 9:30~13:00】  
 キノコのほだ木づくりとほだ木の管理方法について学びます。  
 対象/親子、一般 要申込 4/26まで 定員/80名(申込順)  
 9:00~17:00  
 (休)火曜・祝日の翌日(4/29、30、5/4は開館)  
 入館無料



## 呉羽少年自然の家

**呉羽の春の集い**  
**「竹の子を探そう! 掘ろう! 味わおう!」**  
 【4/19(土)~20(日)】 1泊2日  
 タケノコやヨモギなど春の食材を採取し、料理を作って食べたり、参加者全員でゲームなどをしたりして交流を深めます。  
 参加費/大人3,000円 小・中 2,500円 幼児 2,400円  
 対象/小・中学生とその家族、一般 要申込 4/13まで 定員/100名(申込順)  
 8:00~17:00(休)月曜・祝日の翌日、5/3~6日  
 日帰り利用料/90円 宿泊料/小・中 340円、25歳以下 670円、26歳以上 1,020円



## 一上青少年の家

**春の楽しさ発見!**  
 【4/26(土)~27(日)】 1泊2日  
 ナチュラリストの案内で春の自然を学び、野外料理などを楽しみます。  
 参加費/1,000円  
 対象/小学生以上(小学4年生以下は保護者同伴) 要申込 4/11まで 定員/100名(申込順)  
 8:30~17:15 (休)月曜・祝日の翌日(4/30は開館) 4/29日帰り利用料/90円  
 宿泊料/小・中 340円、25歳以下 670円、26歳以上 1,020円



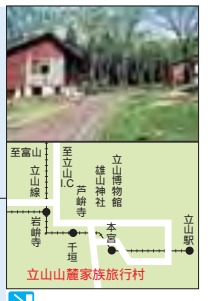
## ウッドルーム富山

**趣味の木工教室(組木編)**  
 【4/12(土) 13(日) 19(土) 20(日)】  
 各日2回実施 9:00~、13:30~  
 材料の加工から組み立てまで行い、五月人形を製作します。  
 材料代/1,200円  
 要申込 各開催日の前日まで 定員/20名(申込順)  
 9:00~16:30  
 (休)火曜・祝日の翌日(4/29は開館)  
 一般 220円 小・中 110円(工作室を利用する場合)



## 立山山麓家族旅行村

**立山山麓鯉のぼりフェスティバル**  
 【4/20(日)~5/5(月・祝)】  
 家庭で使わなくなった鯉のぼりを募集し、盛大な吹流しを行います。  
 オープニングセレモニー  
 4/20 10:00~12:00  
 鯉のぼりの寄贈受付 4/15まで  
 受付 8:30~17:00  
 貸別荘ペン 宿泊 4人用 11,880円 8人用 19,010円  
 日帰り 4人用 5,050円 8人用 8,070円  
 多目的ハウス 宿泊 一般 1,530円 高校生 570円 小・中 420円  
 オートキャンプ場 宿泊 5,000円 日帰り 2,000円



近代美術館、水墨美術館、中央植物園は土日・祝日の小・中学生、高校生の観覧料、入園料は無料です。